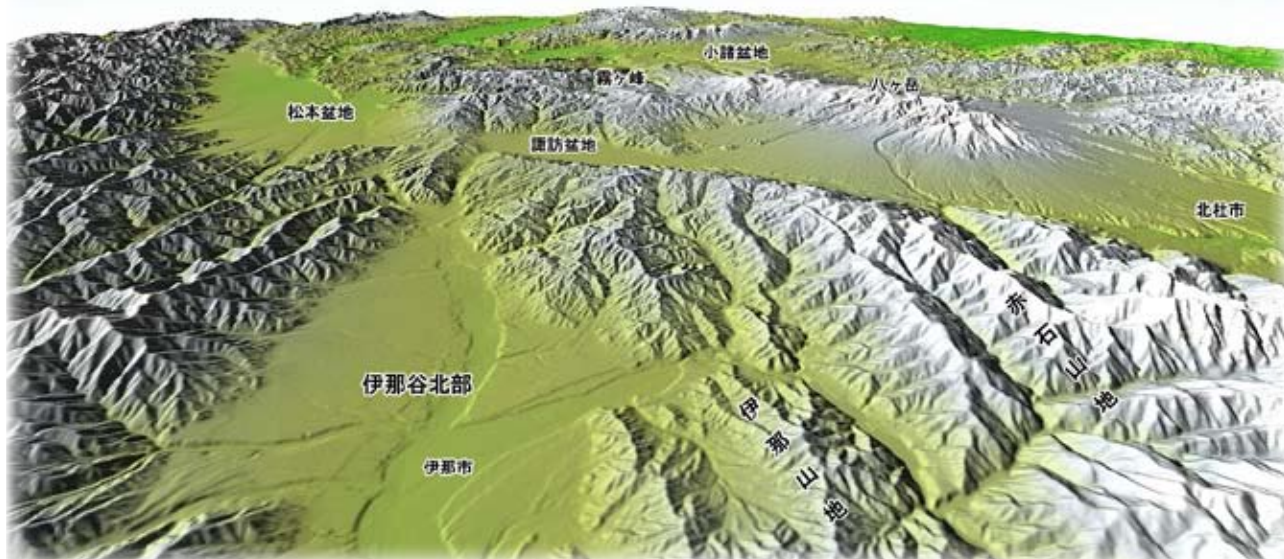


びはく 5月の自然講座へのおさそい

諏訪湖周辺の地質から 信州中・南部の 最近 200 万年間の地殻変動を探る



本州弧と伊豆 - 小笠原弧が交差するフォッサマグナは、地球上でも特異な地域である。本講演では、霧ヶ峰高原、諏訪・小諸盆地周辺の火山性物質の地質調査と年代データをふまえて、火山活動史と周辺の地形の成り立ちを明らかにした。また、諏訪盆地を横断した地下構造探査の結果を再検討し、盆地の形成過程、糸魚川 - 静岡構造線の活動、伊那山地と南アルプスの急速隆起などについて考察した。

日時： 5月26日（土） 午後1時30分～3時30分

場所： 飯田市美術博物館 講堂 ※聴講無料、申込不要

演題と講師：

1:30～2:20 「**活発な火山活動と霧ヶ峰高原の隆起、小諸・諏訪盆地の沈降**」 講師：宮坂 晃氏（立科町教育長）

2:30～3:20 「**地下構造探査から見た諏訪盆地の形成と、伊那・赤石山地の隆起**」 講師：狩野謙一氏（静岡大学名誉教授）



飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252 <http://www.iida-museum.org/>

◆次回の自然講座は7月22日（日）、星博幸氏の（愛知教育大学准教授）「南信で探る日本列島の形成」です。